

特集

## 宅地地盤と地盤品質判定士～宅地災害 低減のために奔走する開拓者たち～

Residential Ground and Professional Engineer  
for Geotechnical Evaluation

- 編集委員長：渦岡良介
- 企画・編集グループ：福永勇介（主査）
- 本号特集担当編集委員：小林陵平（主査）

井上波彦 今泉和俊 柴田俊文 長坂光泰 古川全太郎

- 講座委員長：若井明彦 委員兼幹事：伊藤壱記・中道洋平

## 本号の編集にあたって

2011年東日本大震災では、全国の宅地において地盤の液状化、擁壁の損傷、宅地地盤の変形などにより、多くの市民が住宅被害を受けました。しかし、市民の方々が住宅の復旧を行うに際して、現地再建の是非や復旧工法の判断、コストの妥当性などを相談できる相手が存在せず、多くの方が困難に直面しました。そのような中、市民の宅地地盤に関する相談を引き受ける資格として、地盤工学会主導で設立されたのが地盤品質判定士です。

地盤品質判定士は2016年熊本地震や2018年北海道胆振東部地震の復旧・復興事業にも技術的アドバイザーとして参画し、被災された市民の方々及び自治体の支援を続けています。しかし、宅地地盤を取り扱うということは、単に技術的な問題解決のみならず、厳しいコスト制限や、細かな法律への準拠、係争問題などについて幅広く対応することが必要となります。これまで、地盤工学分野の技術者の主戦場は主に公共土木工事分野であり、比較的潤沢な予算の中で最良の技術・工法を選択できる立場にありました。一方、宅地地盤は民間工事分野であるために様々な制約があり、地盤工学分野の技術者にとっては、これまで携わっていた公共土木工事分野の常識が一切通用しない未知の世界とも言えるものです。

そこで、本誌令和2年2月号では「宅地地盤と地盤品質判定士～宅地災害低減のために奔走する開拓者たち～」と題しまして、宅地地盤の最先端で奮闘している技術者の方々に、宅地地盤を取り巻く現状や、宅地地盤の調査・評価手法の特殊性、災害復興や自治体への支援活動事例について御紹介いただく特集を企画いたしました。本書が、読者の皆様が宅地地盤の防災に興味をお持ちいただくための一助となれば幸いです。

森友宏（もりともひろ、前主査）

地盤工学会のホームページ URL <https://www.jiban.or.jp/>

国際地盤工学会ホームページ <http://www.issmge.org/>

# CONTENTS

2020  
2

## 地盤工学会誌

Vol.68 No.2 Ser.No.745

### 土と基礎

\*HP…<http://u0u1.net/EDoR>

口絵写真 (HP) | 技術手帳：表面波を用いた二次元／三次元探査

特集テーマ：宅地地盤と地盤品質判定士～宅地災害低減のために奔走する開拓者たち～

総説	宅地地盤災害と地盤品質判定士（現状の問題点と今後の展望）……………1 ●北詰 昌樹
論説	宅地地盤を取り巻く法律と評価の歴史……………2 ●藤井 衛
	宅地地盤評価に関わる技術的問題（SWS 試験による宅地地盤の評価技術）……………6 ●大島 昭彦
報告	土地、災害、防災と関連する法律……………10 ●諏訪 靖二
	熊本地震の被災者支援と地盤品質判定士の役割……………14 ●田尻 雅則
	2016年熊本地震における益城町の造成宅地被害と地盤特性……………18 ●佐藤 真吾／増田 充浩
	先駆者としての地盤工学判定士会神奈川支部～その活動軌跡とこれから～……………22 ●立花 秀夫
学会の動き	第4回廃炉地盤工学講習会開催報告……………26 ●後藤 茂
技術手帳	表面波を用いた二次元／三次元探査……………27 ●林 宏一／小西 千里
	城石垣と穴太衆……………29 ●粟田 純徳

### 複写をされる方へ

地盤工学会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、同協会より許諾を受けて下さい。但し（公社）日本複製権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業等法人による社内利用目的の複写はその必要はありません（社外頒布用の複写は許諾が必要です）。

権利委託先：一般社団法人 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 2F

FAX：(03)3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作権の引用、転載、翻訳等）に関しては、（一社）学術著作権協会に委託しておりません。直接、地盤工学会（連絡先は本文最終ページに記載）へご連絡下さい。

アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

講座	土を固める技術の動向	
	7. 混ぜずに固める技術	31
	●佐々木隆光／上村健太郎／末政 直晃	
	地盤工学における性能設計の基礎と実装～鉄道構造物等設計標準を例として	
	6. トンネルにおける性能設計の実装	39
	●仲山 貴司／牛田 貴士／岡野 法之	
	会告 第8期代議員選挙のお知らせ	47
	新入会員	51
	編集後記	52

# CONTENTS

2020  
2

**Geotechnical Engineering Magazine**

**Vol.68 No.2 Ser.No.745**

**The Japanese Geotechnical Society**

Editor-in-chief

Ryosuke Uzuoka

Akihiko Wakai

Associate Editor

Yusuke Fukunaga

Issue Editor-in-chief

Ryohei Kobayashi

Editors

Namihiko Inoue, Kazutoshi Imaizumi,

Toshifumi Shibata, Mitsuyasu Nagasaka,

Zentarō Furukawa

Theme: Residential Ground and Professional Engineer for Geotechnical Evaluation

Geotechnical Disasters and Professional Engineer for Geotechnical Evaluation (Current subjects and Future Perspective) .....	1
● Masaki Kitazume	
Legal System and Evaluation History of Residential Ground .....	2
● Mamoru Fujii	
Technical Problems for Evaluation of Residential Ground ~Evaluation Technology of Residential Ground due to Swedish Weight Sounding Test~ .....	6
● Akihiko Oshima	
Land, Disaster, Disaster Prevention and Related Laws .....	10
● Seiji Suwa	
Support for Victims of the Kumamoto Earthquake and the Role of PEGE (PEGE : Professional Engineer for Geotechnical Evaluation) .....	14
● Masanori Tajiri	
Damage and Ground Characteristics of Residential Land in Mashiki Town in the 2016 Kumamoto Earthquake .....	18
● Shingo Sato and Mitsuhiro Masuda	
Kanagawa-brunch as a Pioneer of Professional Engineer for Geotechnical Evaluation —It's Experiences and Future— .....	22
● Hideo Tachibana	